

えにわ 感染対策チームだより Vol.14

今後もしっかり対策が必要

経験談から学ぶ！「家庭内での感染対策の工夫」



「同居家族で一人感染したら、もう全員、陽性でしょ・・・」と思われる方も多いかもしれませんが、工夫次第で家族感染することなく観察期間を過ごすことができます。

今回は、実際に家庭内感染を防いだ方から、家庭内で行った工夫（対策方法）をお聞きしました。

<パターン1> 小さな子の場合

Aさんは、介護系施設に勤務する3歳男児のパパ。今回、保育園に通っていたお子さんがコロナに感染していることがわかりました。Aさんは今まで得た知識をフル活用して、家族感染することなく一家を守りました。さてその方法とは・・・



ヒーローは秘密基地に住んでいる。(部屋を確保し、好きなものを入れて基地をつくる) 悪いやつに見つからないよう、基地から出るときは指紋を消すために、これ(アルコール消毒液)を手につけて基地から出る。

そして、ヒーローは顔がばれないようにしなくちゃならない。基地から出る時は、これを(マスクにカッコイイ絵を書いた)つけるんだ！

仲間と喋って秘密がばれたら困るから、暗号でやり取りしよう。そうだ、目で合図だ。ご飯やおやつの際にアイコンタクトで喋らずに伝えると悪者にばれないぞ！

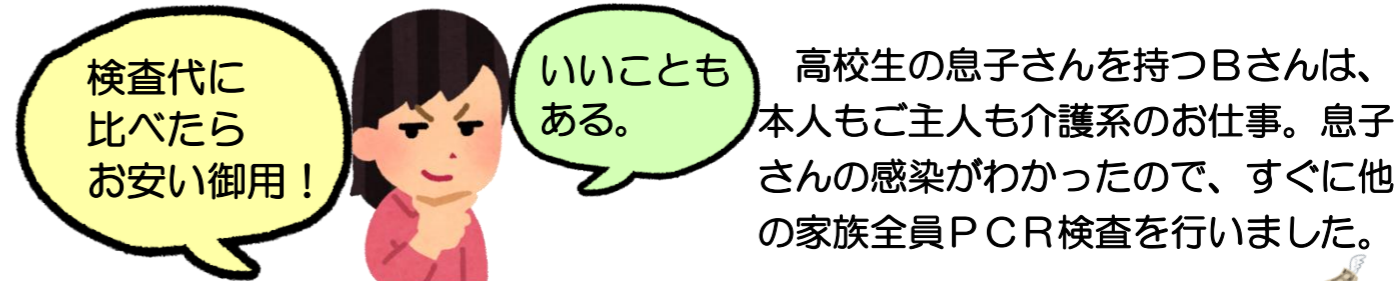
お子さんが寂しくしないようにするのが大切ですね。

陰性が確認されたら、「かっこよかったぞっ」て思いっきりほおずりしたそうですよ♡



<パターン2> 小学校高学年以上の場合

小学校高学年以上になれば、基本的な感染対策は、理解できると思います。お子さんに協力をしてもらい、家族でしっかり対策をたてて過ごしましょう。



検査結果は陰性だったけど、請求書を見て「高っ!」。手拭きのペーパー代をケチっている場合じゃなかった。絶対観察期間で終わらせる!それなら経費も最小限で終わる。



息子が部屋から出てこなくてもいいように、部屋に大きいゴミ箱、安い時にたくさん買っておいたアルコール消毒液や除菌ウェットティッシュをセッティング。息子とのやりとりはLINE。

部屋で食事もあるため、使い捨てできるコンビニの割り箸の出番がきた。もちろん、私も夫も食事は別々にとった。

お風呂も、息子は最後までしくは曜日を変えて入ってもらった。トイレなどの共有箇所は、使うたびに除菌ウェットティッシュでふき取り。洗面所は、こまめに泡スプレータイプの次亜塩素酸ナトリウムで消毒。



普段から家族LINEは使っていたけど、今まで以上に頻繁に息子とコミュニケーションをとれてよかった。夫や息子は今まで掃除したことなかったけどやるようになった。うん、LINEと掃除は続けよう。

文責：診療看護師 樋口 秋緒



えにわ感染対策チーム **こびりんず**

代表 樋口 秋緒 (恵み野訪問看護ステーション「はあと」)
問合せ先 連携センターりんく (恵庭市在宅医療・介護連携支援センター)
☎ 0123-36-0101